

|会|社|案|内|

# 信頼の技術で育む人の和



信和測量株式会社

SHINWA Survey Co.,LTD  
Corporate Profile

# 測って支える！

建物をつくり、  
線路を通し、  
人々が行き交う街をつくる——  
そんな社会インフラの計画・整備を  
私たちの測量技術が支えます。

社会インフラの計画・整備のあらゆる分野に必要とされる「測量技術」を、1965年の設立以来培ったノウハウと最新の技術、経験豊富な人材で提供しています。

これらスペシャリスト集団による的確で総合的な地理空間情報を駆使して、調査・測量・計画・申請・提案・施工に至るまでトータルにサポート。便利で豊かな人々の暮らしの実現に貢献できるよう日々邁進しています。



代表取締役 峯岸 慎

## 社長インタビュー

Q1

表紙にあるワード「信頼の技術で育む人の和」に込められた思いをお聞かせ下さい。

A1

当社の社名である信和測量にもその漢字が含まれている「互いに信じ合い、和を大切にする気持ち」を持って業務に取り組んでもらいたいという創業時からの思いが込められています。現在の社員も先輩方の意思を受け継ぎ、後輩たちの指導に取り組んでいます。

Q2

半世紀以上に渡って長く成長してこられた強みはどんなところにあるとお考えですか。

A2

当社は測量業界ではニッチ市場とも言える鉄道分野で事業展開している企業です。特殊な資格・特定技術等が求められるため過当競争に巻き込まれにくいマーケット環境に恵まれてじっくりと技術力を磨き上げ着実に進化させられてきたことと、社員間の風通しの良さもあって技術伝承が上手くいっていることも要因と考えています。

Q3

社員の年齢構成が幅広いと思いますが社内の雰囲気はどんな感じですか。

A3

社員の年齢構成は、各世代バランス良く在籍しています。これはバブル崩壊後の厳しい時期、事業継続のためにはみんなが我慢して若手を採用していこうと努力してきた結果だと思っています。毎年、社員全員で社員旅行にも行っているのですが社内のコミュニケーションもいい雰囲気で取れていますね。

Q4

今後の抱負をお聞かせ下さい。

A4

会社の継続・成長のために最も大事なことは人材の確保と考えています。今後も社員の教育に力を入れて、会社全体のスキル向上を図り、社会インフラの計画策定、整備に向けて社会から選ばれ続ける会社でありたいと思っています。

Q5

最後に座右の銘などあれば…

A5

中国古典に「先憂後楽（せんゆうこうらく）」という言葉があります。意味は、「天下のことについて、人々よりも先んじて憂い、楽しみごとは人々よりも遅れて楽しむ」ということです。これはリーダーや幹部、即ち人の上に立つ者の心構えを語った言葉です。創業者より贈られた言葉ですので、大切にしています。



# 事業内容

鉄道関係の測量は創立時より手掛けている、実績豊富な最も得意とする分野です。

用地測量関係では、2002年に東京都東部公園緑地事務所様発注の「東部公園緑地事務所管内測量調査」を通じて長期間同事務所の懸案事項であった地図混乱地域の土地買収に係る諸問題解決に大きく貢献、事務所表彰を受けました。

## 1

### GNSS測量



人工衛星から送信される衛星電波を利用し現在位置を計測する方式です。トータルステーションを用いた測量と比較して、時間と労力が大幅に軽減されました。GNSS測量は、天候に左右されることなく高精度の測定が可能です。弊社では基準点測量等、幅広い分野にGNSSを活用した測量業務を実施しております。



## 2

### 路線測量[鉄道・道路]



鉄道は、弊社のメイン業務です。創立以来、数多く手掛けてきました。一番の得意とする分野です。路線測量の成果を用いて、線形計算を行い、現地に線形復元。これを基に軌道工事が行われ、乗り心地が良い鉄道となります。

## 3

### 道路敷地調査測量



道路法に定める道路を構成する土地の範囲（道路区域と言われています）を調査、測量し、道路管理が円滑に行える様、管理図（道路台帳図等）を作成、修正することが目的です。弊社では、東京都及び、区市町村の案件も数多く手掛けております。

## 4

### 工事測量



弊社では主に鉄道工事において、連続立体交差化工事、ホームドア設置工事、盛土耐震工事等、様々な工事現場においてご用命頂いております。一つのミスが工事全体に影響を及ぼすため、細心の注意が必要となります。

## 5

## 深浅測量



水上において船の位置と、水深の測量を同時に行う測量作業です。弊社では、この測量において、GPS・ソナー搭載自律走行無人ボートを使用しております。有人ボートでは困難な浅瀬や危険水域での測量調査が可能となり、座礁、転覆、転落事故のリスクを軽減しました。また、測量時間の短縮に成果を上げております。

## 6

## 地籍調査測量



主に区市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量することが目的です。弊社で行う地籍調査は主に、官民境界等先行調査で官有地（道路、水路等）と民有地の境界を先行して確認していく測量です。都市部における災害時には、その復旧に大きく寄与するものと確信しております。

## 土木設計

## 7

## 三次元点群測量



三次元レーザスキャナ及びドローンを用いて、鉄道敷地内・道路上の地形、地物の三次元点群データを作成します。現地測量で平面図を作成する方法に対し、短時間で広範囲に計測できます。高精度な三次元点群データを取得し、設計・施工、施工後のメンテナンスにも活用されています。

## 線形計算[鉄道/道路]



鉄道線形を弊社創立以来の技術的ノウハウを蓄積し、提供しております。難しい条件下で滞っていた案件を手掛け、大手鉄道会社様より感謝状を頂いた実績も多数あります。

■ 社 史

昭和40年～50年

昭和40年7月東京・新橋にて大沼忠克ら6名により会社設立、現在の基幹業務である測量業務の受注を開始

- 昭和40年 コンサルタント会社、ゼネコンより測量業務を受注
- 昭和47年 道路公団より初めて元請受注
- 昭和48年 東京都より初めて元請受注
- 昭和50年 設立10周年



昭和51年～60年

元請受注の比率が徐々に高まると同時にイラク、マレーシア、ドミニカ共和国など受注が海外にも広がる

- 昭和50年 光波測距儀、パソコン、ポケコンを業務に導入
- 昭和57年 トータルステーションを導入
- 昭和60年 設立20周年



昭和61年～平成7年

自治体等公共機関からの受注が増加の一途をたどる

- 平成3年 多摩支社を開設
- 平成7年 設立30周年

平成8年～平成17年

バブル崩壊の影響を受け平成9年をピークに業績が低下

- 平成12年 山元正幸が第2代代表取締役役に就任
- 平成14年 GPS観測機導入
- 平成16年 西武鉄道株式会社より元請受注
- 平成17年 創立40周年



平成18年～平成27年

新規事業が業績回復に寄与、社員数も元の規模に

- 平成23年 新規業務としてガス調査業務を受注。以降の基幹業務の一つに
- 平成24年 2周波GPS観測機導入
- 平成25年 リモコンボート搭載測深機導入
- 平成27年 設立50周年

平成28年～令和5年

鉄道関連事業の受注増加、業績推移過去最大に

- 平成28年 新規事業としてJR鉄塔用地、調査業務を受注
- 平成29年 京王電鉄株式会社と基本契約を締結
- 平成30年 峯岸 慎が第3代代表取締役役に就任
- 平成30年 3Dレーザースキャナ導入
- 令和2年 UAV(ドローン)の導入



■ 主な受注実績

官公庁関連

新大村空港(長崎空港)測量	大村湾の箕島全体を測量	昭和45年9月～昭和46年1月
東北高速道路(加須)区域決定及び管理用図面作成作業その1	日本道路公団よりの初元請受注	昭和47年2月～昭和47年3月
種子島宇宙センターにかかる道路、敷地、災害復旧、造成、地形測量等	同センターから計9件の測量を受注	昭和47年2月～平成11年12月
花畑団地移管道路用地路線その他測量業務		平成24年9月～平成25年3月
道路台帳測量業務委託(28汐-2)		平成28年7月～平成29年3月
白金五丁目都市再生地籍調査委託		平成29年6月～平成31年3月
細街路拡幅整備測量業務委託(単価契約)		平成25年4月～令和2年3月
道路敷地調査測量(4-の1)	優良賞 受賞	令和4年8月～令和5年3月

## 鉄道会社関連

JR中央本線藤野～上野原間複線化に伴う測量	会社設立後の初受注案件	昭和40年7月～同年8月
JR山陽新幹線 明石～加古川間、徳山～防府間中心線その他測量	後に工事測量も受注	昭和41年12月～昭和43年6月
JR武蔵野線操車場中心線測量	操車場建設時測量	昭和47年3月～昭和48年1月
西武鉄道への地下鉄8号線乗入れに伴う桜台～大泉学園間連続立体交差に伴う測量	計画段階から完成まで	昭和57年6月～平成27年4月
御茶ノ水駅構内及び神田川測量調査	JRC業務にも関連	平成2年7月～同年12月
西武線保谷駅構内配線変更	西武鉄道(株)からの初元請受注	平成16年11月～同年12月
JR御茶ノ水駅改良調査・設計測量	リモコンボート導入	平成21年4月～平成28年2月
西武新宿線井荻～西武柳沢駅間連続立体交差事業	(現在進行中)	平成21年11月～令和5年3月
西武池袋線他9路線の曲線調査		平成24年3月～同年9月
ホームドア新設に伴う調査測量	実績40駅を超える	平成26年6月～令和5年3月
石神井公園駅付近連立に伴う用地測量	計画から完成まで	平成18年6月～平成29年3月
中井～野方駅付近連続立体交差事業測量	(現在進行中)	平成19年12月～令和5年3月
東村山駅付近連続立体交差事業に伴う用地測量	(現在進行中)	平成20年10月～令和5年3月

## その他

イラク共和国バグダット国際空港測量		昭和51年10月～昭和52年10月
バタンアイ(マレーシア)ダム建設工事測量	現場事務所開設からダム本体完成までトータル受注	昭和57年3月～昭和59年10月
東京ガス 工事測量	平成23年より毎年継続受注	平成23年～(毎年)
福島河川横断測量	福島第一原発関連制限区域内作業	平成24年12月～平成25年2月
西武園ゆうえんち測量業務委託		平成30年8月～平成31年3月
宗吾車両基地(平成30年度)鉄道用地外現地測量		平成30年12月～平成31年2月
JR鉄塔用地 調査測量	平成28年より継続受注	平成28年4月～令和5年3月
としまえん測量業務委託		令和2年6月～令和5年3月

## ■ 会社概要

会社名	信和測量株式会社
本社所在地	〒105-0004 東京都港区新橋5丁目4番1号 TEL：03-3431-2157 / FAX：03-3437-6070
創立年月日	昭和40年7月1日
資本金	1000万円
代表者	代表取締役 峯岸 慎
測量事業者登録	登録 第(12)-5309号
プライバシーマーク	認定番号 第10840496号
取引銀行	みずほ銀行 新橋中央支店 / 三井住友銀行 日比谷支店 / 芝信用金庫 新橋支店
従業員数	39名(令和5年4月現在)

## ■ 研修制度・レクリエーション活動

技術研修だけでなく社員間のコミュニケーション向上を図るための懇親会やレクリエーション活動も定期的を実施しています。



社員旅行



信和測量株式会社

<https://www.shinwa-srv.co.jp/>



■ 本 社

〒105-0004 東京都港区新橋5-4-1  
TEL : 03-3431-2157 / FAX : 03-3437-6070



■ 多摩支社

〒187-0042 東京都小平市仲町107 ベルセジュール小平  
TEL : 042-346-2716 / FAX : 042-346-2706

